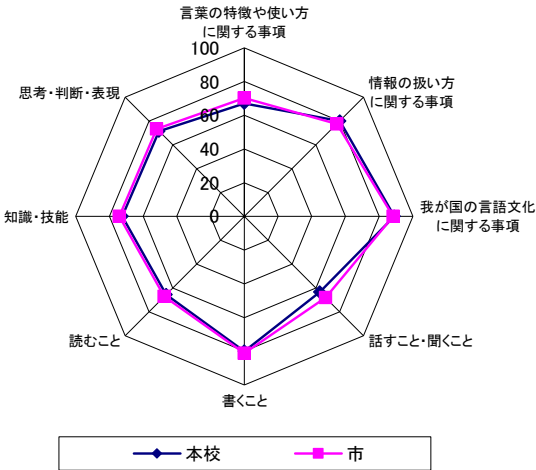


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.0	70.2	64.7
	情報の扱い方に関する事項	80.0	77.6	71.1
	我が国の言語文化に関する事項	89.0	88.3	79.1
	話すこと・聞くこと	63.4	68.2	67.4
	書くこと	80.0	81.1	71.7
	読むこと	65.6	67.2	61.3
観点別	知識・技能	72.4	74.2	67.9
	思考・判断・表現	71.5	73.5	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○敬語についての理解は、正答率が88.7%で市の平均と比べてやや高い。 ●漢字を読む問題及び漢字を書く問題は、6題中5題で市の平均を下回っている。 ●助動詞についての理解は、正答率が29.6%と低く、類義語についての理解は、市の平均より4.2%低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・年間を通して漢字の小テストを行うことで、漢字の読み及び書きの力を身に付けさせる。 ・文法の学習は、定着していない内容について復習したり、小テストを行って理解を確認したりすることで、学習内容を身に付けさせる。 ・類義語、対義語など言語に関する知識の定着のため、便覧を活用し、さまざまな言葉について興味を持たせる。
情報の扱い方に関する事項	○情報と情報との関係について理解し、論理の展開を捉える問題では、市の平均より3.8%高い。 ○情報と情報との関係について理解し、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるよう工夫しているかを書く問題は、86.9%で市の平均と比べてやや高い。	・文章中から必要な情報を選んで集めたり、分かりやすく整理してまとめたりする学習を通して、情報を適切に読み取り、取り扱う力をつけさせる。
我が国の言語文化に関する事項	○歴史的仮名遣いについての理解に関する問題では、市の平均を1.6%上回っている。 ○現代語訳を手掛かりに古典を読んでいるかを問う問題では、市の平均とほぼ同じ正答率である。	・繰り返し音読することにより、歴史的仮名遣いの読み方を確認し、古典の独特のリズムに慣れさせる。 ・授業において、現代人の物の見方や感じ方と、古典で登場する人々の感覚とを比べ、共通する点や、現代とは違う点に気付かせ、興味を持たせる。
話すこと・聞くこと	●話の展開を予測しながら聞く問題では、市の平均より4.8%低い。 ●自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫しているかを問う問題では、市の平均より3.2%低い。 ●話の展開を予想しながら聞き、自分の考えを深めているかを問う問題では、市の平均より6.4%低い。	・1対1での意見交換や、グループでのディスカッションなど、自分の考えを述べる活動を取り入れる。 ・スライド等を利用したプレゼンテーションの仕方を指導したり、発表の内容について質問をさせたりすることで、伝わりやすい話し方や、聞く力を養う。
書くこと	○与えられた条件をもとに文章を書く問題では、指定された長さや、2段落構成の条件を踏まえて文章を書いている。市の平均とほぼ同じ正答率である。 ●目的や意図に応じた表現になっているかを確認して、文章全体を整えているかを問う問題では、市の平均より5.3%低い。	・スタンダードダイアリーをはじめ、授業以外に様々な場面で「書く」機会を設け、意見や考えを文章化する習慣をつけさせる。また、タブレットを活用した課題を取り入れ、文章作成の苦手意識を克服させる。 ・資料の読み取り方の指導や、そこからどんな意見が考えられるか検討する時間を作るなど、条件に合った作文が書けるようにする。
読むこと	○情報と情報との関係について理解し、論理の展開の仕方を捉える問題では、市の平均より3.8%高い。また、物語の展開の仕方を捉える問題では、市の平均とほぼ同じ正答率である。 ●論理の展開の仕方を捉える問題では、市の平均より6.8%低い。また、文章の表現の仕方について評価しているかを問う問題では、市の平均より4.2%低い。	・説明的文章の単元において、文章の展開を捉えるために、接続詞に着目して文章構成を理解させる。また、主張や具体例など、何が述べられているかを判断し、過不足なく要旨をまとめられるよう指導する。 ・文学作品の単元において、心情描写や情景描写などの表現の特徴を捉えるとともに、語句の意味を確認し、語彙力を身に付けさせる。